

新規学卒者の障害受容について



ハローワーク広島東

川本 静

1 はじめに

● 障害者雇用はチーム支援が重要

- ・ 福祉制度の活用（障害者手帳・年金など）
- ・ 連携（地方自治体・支援機関・医療など）



チーム支援に結びつかない方も存在する



なぜ支援制度を
利用できないのか？

知識の不足



どこからが障害
なのか？

障害を理解していない

2 障害の有無について(ハローワークにおける取り扱い)

● 専門相談部門

求職者

- ・障害者手帳所持者
- ・障害者手帳を所持しない者のうち(統合失調症、そううつ病、てんかん、発達障害、難病)等

新規学卒者

- ・障害者手帳所持者
- ・特別支援学校生
- ・支援機関利用者

● 職業相談部門

求職者(新規学卒者含む)

- ・特別な支援を必要としない方

障害者手帳等所持者

- ・障害者手帳所持者のうちクローズ(障害者であることの開示を希望しないこと)での応募を希望する方
- ・チーム支援や雇用対策のメリットを理解していない方

★ 新規学卒者の就職活動の進め方

就職活動：履歴書・自己PR書など応募書類の作成、応募企業の選定、面接

就職後の定着が重要



採用・定着に**差**が出る

障がいオープンにしての就職

- ・助成金制度
- ・雇用率
- ・支援

支援

- ・地域障害者職業センター
- ・障害者就業・生活支援センター
- ・就労移行支援事業所 等

3 障害者手帳を所持する方への対応

一般の職業相談窓口を利用する者

一般の学校へ進学者でよく見受けられること

- ・障害者雇用制度、支援体制の認識不足
- ・「これまで頑張っている」との思い
- ・周囲の自然なフォロー

障害を伝える
必要性を理解
していない



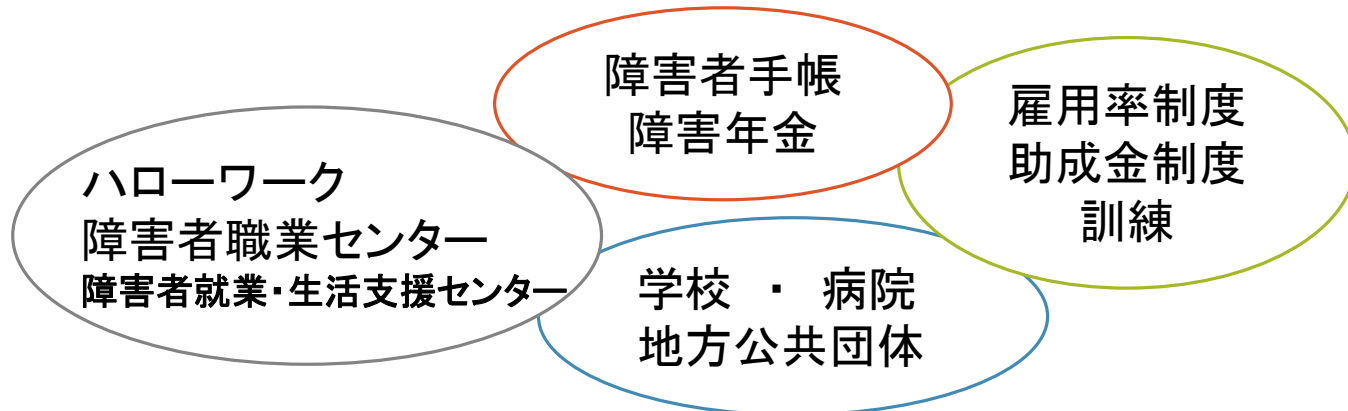
企業

障害者雇用制度、支援体制を活用して
就労環境を整備する

障害を理解して
いないと判断される

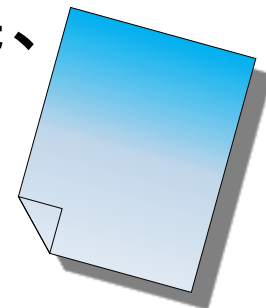
3-② 障害者手帳を所持している方は

● 障害者を取り巻く諸制度を知ろう

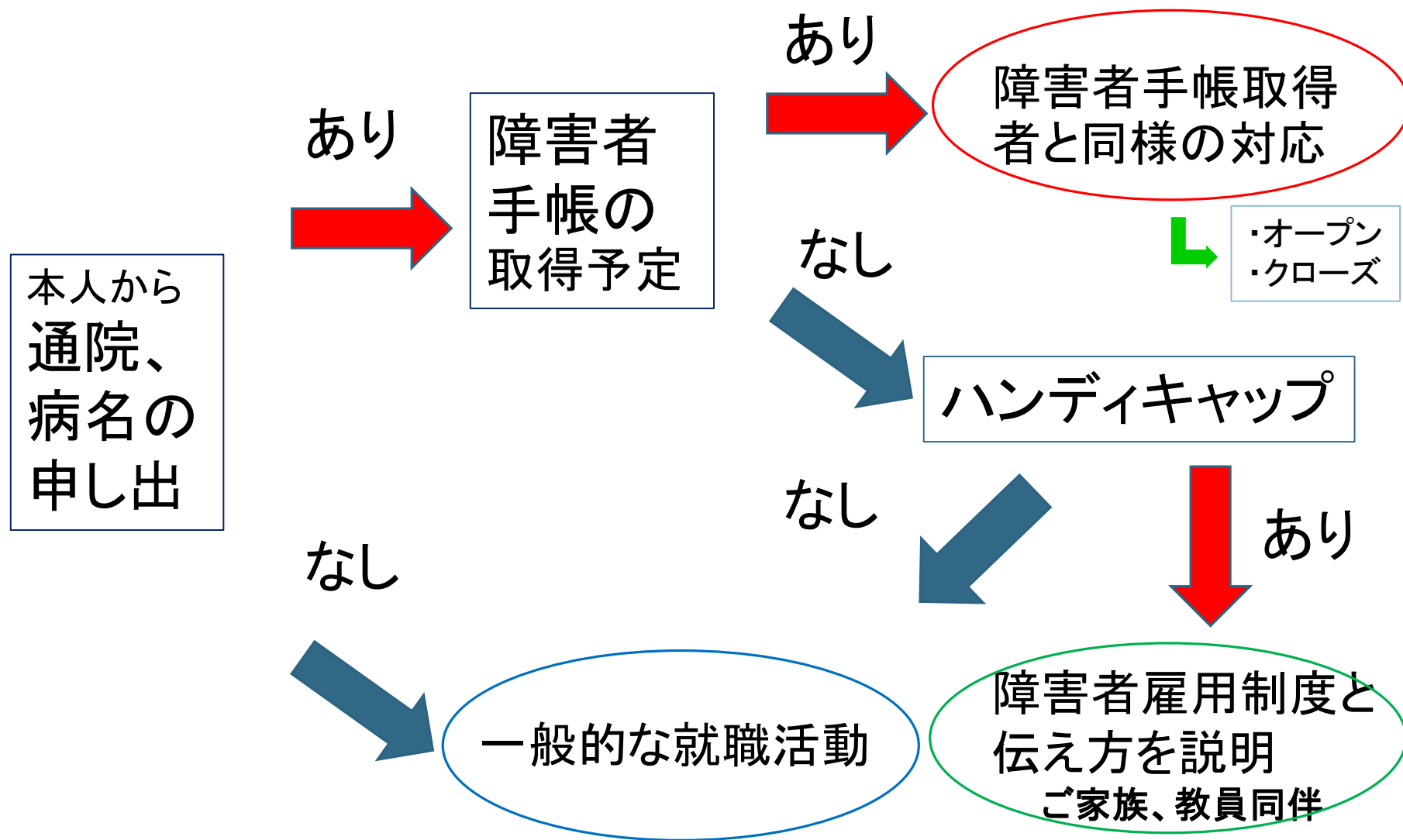


● 障害の状況についてまとめよう

障害の状況、障害特性、通院、服薬、
配慮の必要な事項



4 障害者手帳を所持しない方への対応



5 初めての就職活動に不安を抱えている方への対応

就職活動の手順を知る



- ・就職活動のどの段階かを明確にして目標設定する
- ・面接後の振り返りを行う

5-② ニーズ把握の方法

◆ 記録して、本人の話をみえる化

否定しない

本人の言葉で時系列に沿ってまとめる

本人の伝えたい内容か確認する

話す → 記録 → まとめる → 確認

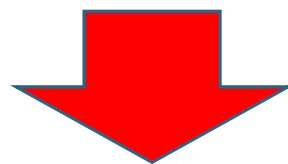
◆ 本人を取り巻く環境へ着眼

家庭環境、家族の意見、奨学金の利用
が多大な影響を与える

なかなか成果がでない方には複数の職員で対応

6 まとめ

学校卒業後の就職は人生を左右する



◎本人のニーズに応じた一人一人に
寄り添った支援が求められる